

2026年度(令和8年度)

目次

CONTENTS

01	予算編成の基本方針と当初予算の状況	1
02	令和 8 年度予算の重点投資	
	1. 子育て・教育環境の再興（整備・充実）	9
	2. 地域で支え合う健康と福祉のまちの再興	28
	3. 経済・産業と観光によるにぎわいの再興	43
	4. 安全・安心でずっと住み続けたいまち	65
	5. 未来につなぐ環境の保全と創出	73
	6. その他重点施策	78
03	付属資料	89
04	掲載事業一覧	97

予算編成の基本方針

誰も一人にさせないまちの実現

横須賀市は、子育て・教育、健康・福祉、移住定住、地域経済・雇用の創出、地域づくり、防災、環境、市役所機能など、市民の皆さんの様々な声を施策へと具現化し、「横須賀復活」と「誰も一人にさせないまちの実現」を目指します。

強みを生かすグランドデザイン

そして、横須賀ならではの強みを最大限生かすため、多彩な魅力と可能性に満ちた資源を活用する「海洋都市」、市民が未来に希望を抱ける「音楽・スポーツ・エンターテインメント都市」、支え合いの風土、谷戸や高台など横須賀特有の地形を個性として生かした「個性ある地域コミュニティのある都市」の3つのグランドデザインのもと、施策を進めます。

最大の役割「福祉の充実」

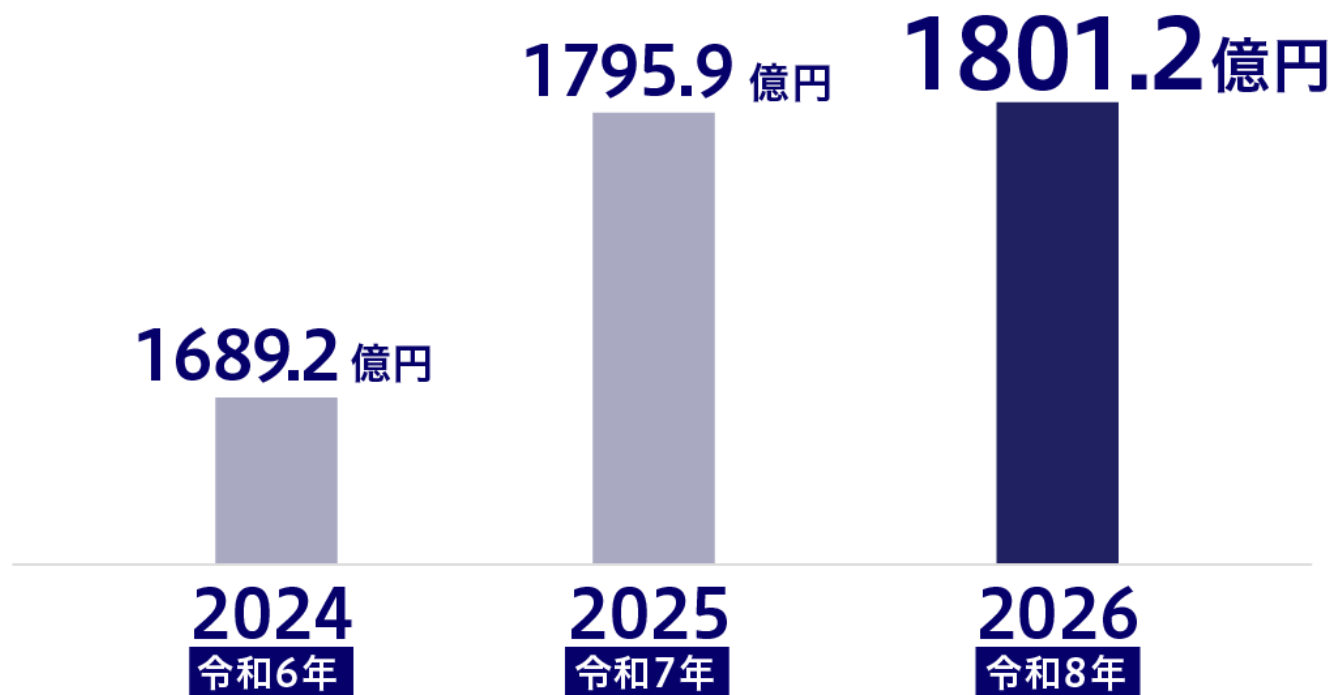
行政の最大の役割は、市民お一人お一人が、自分らしく生きることができる環境を整えるという広い意味での「福祉の充実」です。これまで実施してきた施策も、これから実施しようとしている施策も、すべてこの目的のためであり、経済施策も、人、物、投資を横須賀に呼び込み、福祉の充実と地域経済との好循環を生み出すために実施しています。

「住んで良かった」と思える予算に

横須賀は大きく変わっています。街に賑わいが戻り、人口の社会減も大きく改善しています。この流れを決して止めることなく、一人でも多くの方に「横須賀に住んで良かった」と心から思っただけけるよう、知恵と汗とを絞り、令和8年度予算を編成しました。

| 一般会計の財政規模

一般会計の財政規模は、市が1年間に運営するお金の総額です。
皆さんからの税金などを財源に、福祉や教育、まちづくりなどを行います。



| 歳入増減のポイント

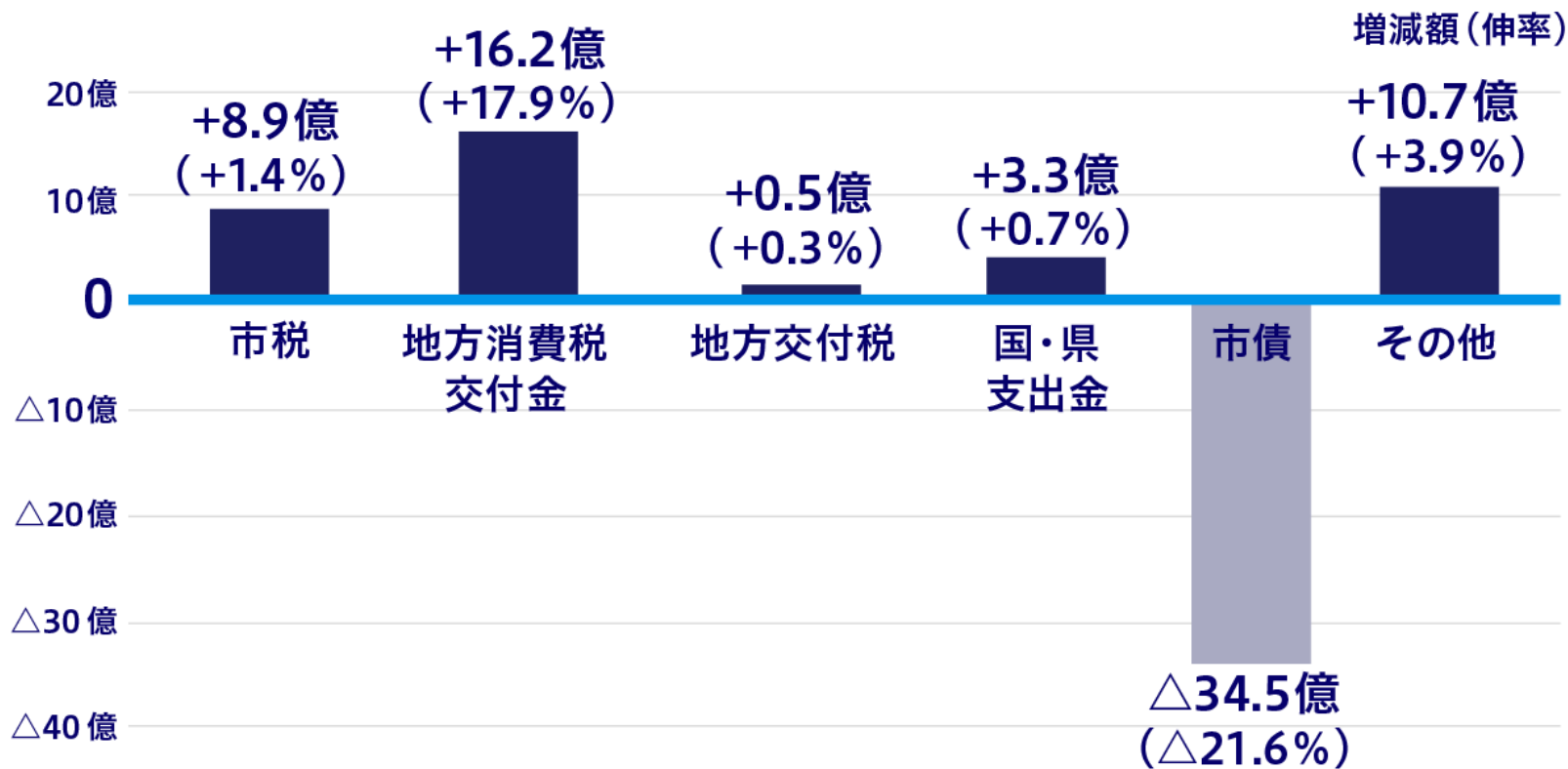
● 増加の主な要因

- 市税 632.4億円（+8.9億円）
※個人市民税が、賃上げによる所得の増などにより+13.2億円
- 地方消費税交付金の増（+16.2億円）
- 小学校給食費無償化による県補助金の増（+ 8.3億円）
- ふるさと納税 12.0億円（+2.0億円）

● 減少の主な要因

- 市債借入の減（△34.5億円）
※芸術劇場天井改修（△15.8億円）、本庁舎非常用発電（△15.7億円）
- 国庫支出金の減（△8.3億円）
※南こども園整備（△7.2億円）、本公郷改良アパート建替（△4.7億円）

昨年度からの歳入の増減



| 歳出増減のポイント

● 増加の主な要因

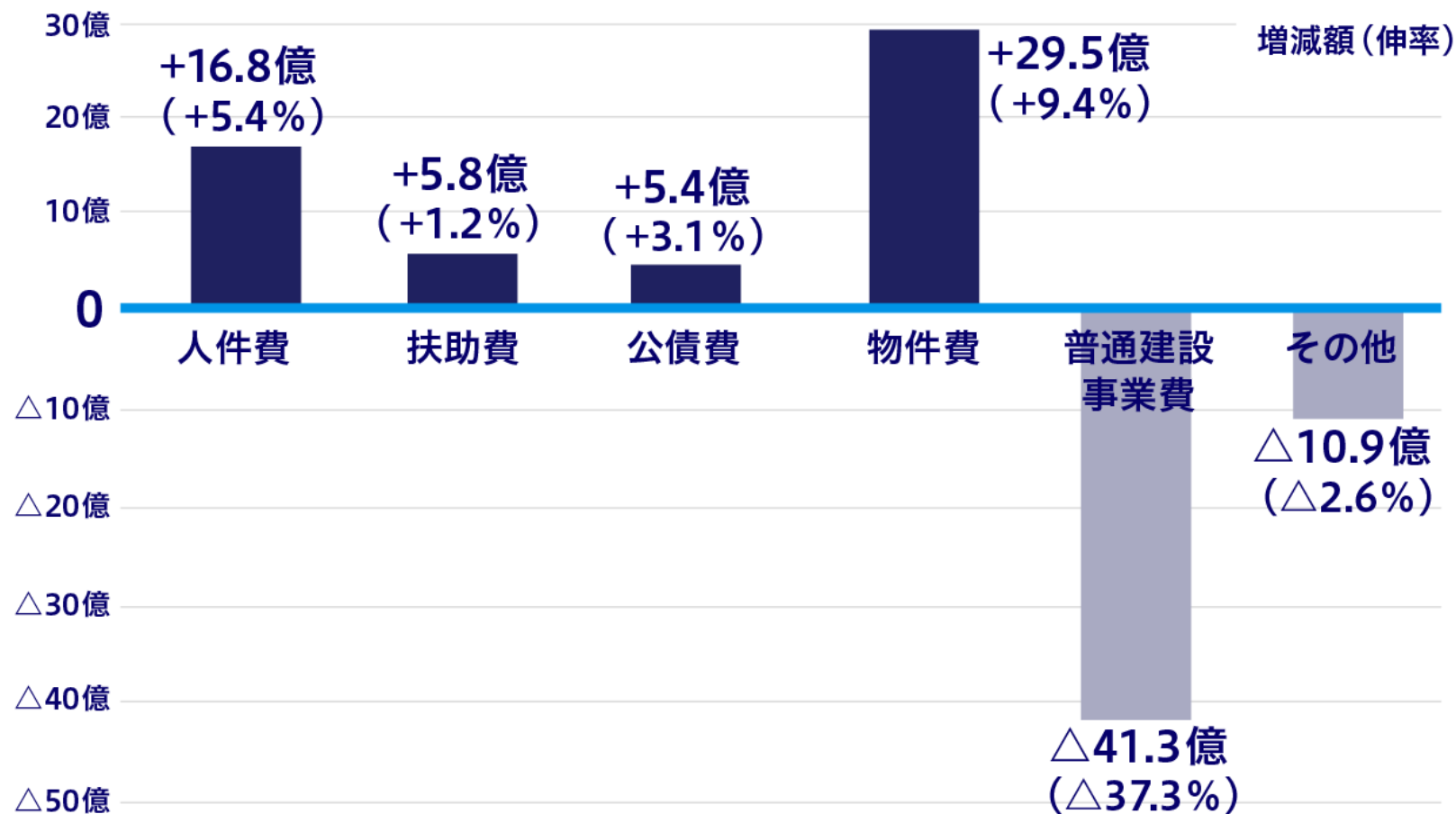
- 定年延長に伴う退職手当の隔年支給（+12.8億円）
- 人事院勧告に基づく給与改定（+12.9億円）
- 教育関連予算の増（+30.0億円）

● 減少の主な要因

- 人員配置の見直し（△6.7億円）
- 大型工事の終了等による普通建設事業費（△41.3億円）および維持補修費（△24.9億円）の減

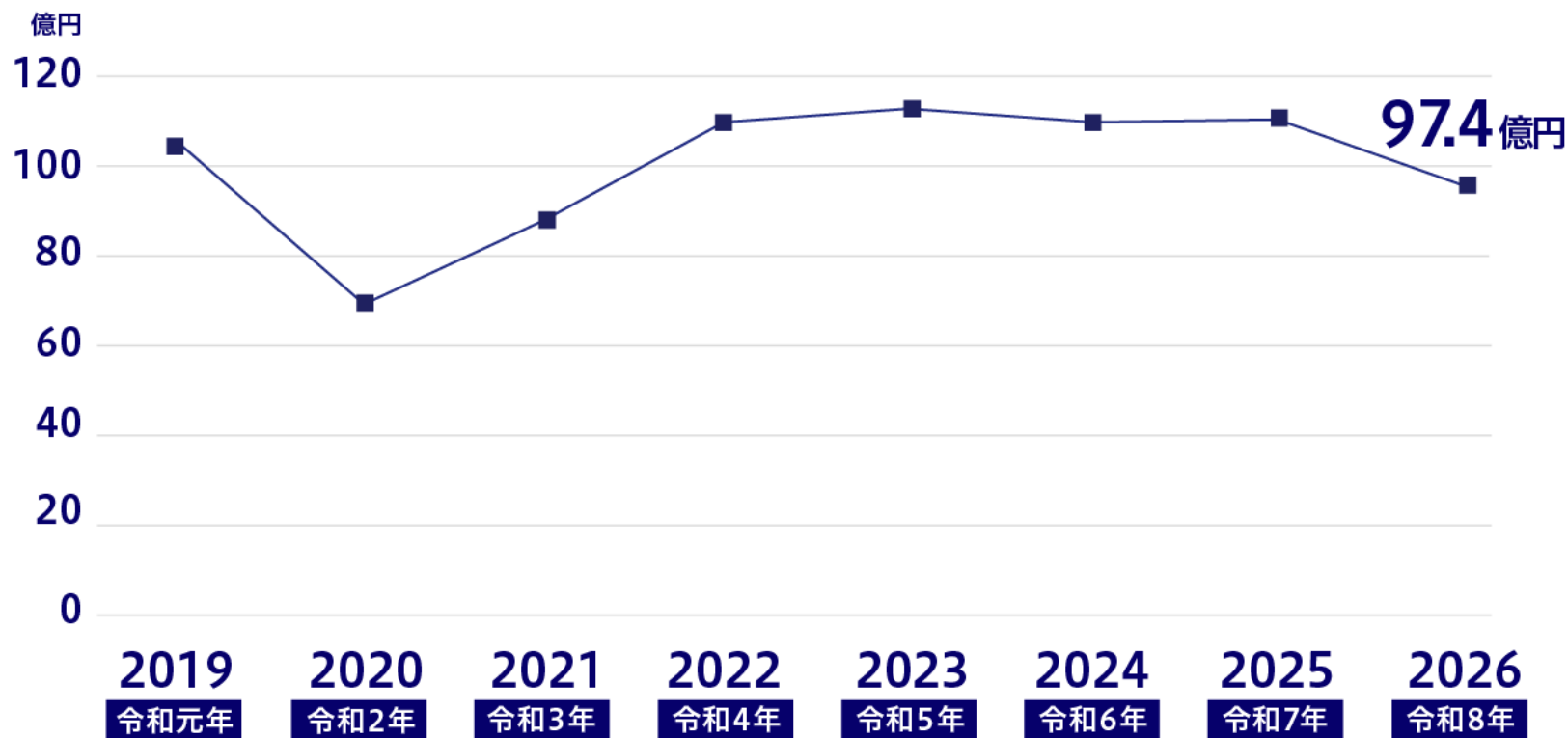
※芸術劇場天井改修（△15.8億円）、本庁舎非常用発電（△15.7億円）
南こども園整備（△9.3億円）、本公郷改良アパート建替（△7.1億円）

| 昨年度からの歳出の増減



財政調整基金の残高

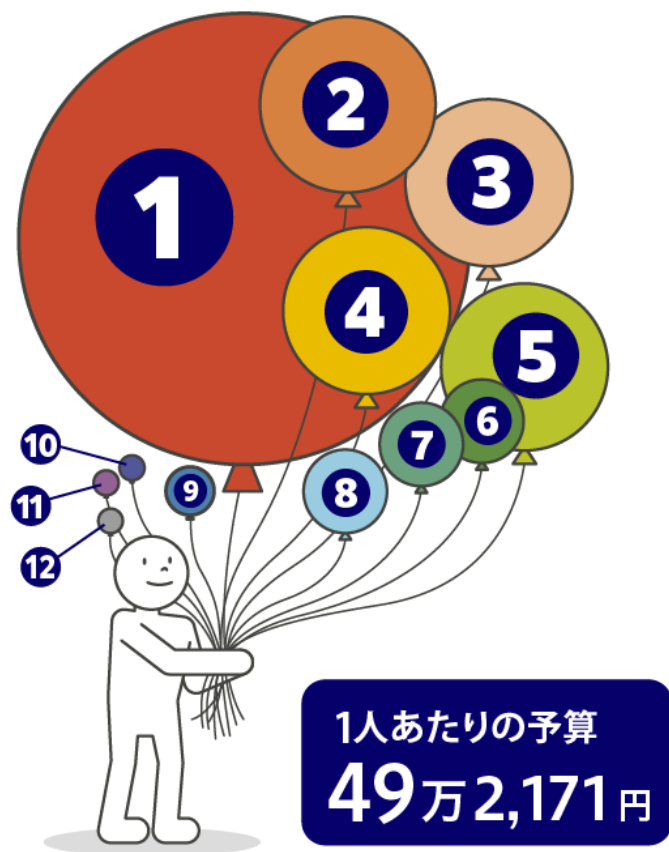
財政調整基金は、急な支出や税収減に備える市の貯金です。



市民1人あたりの予算の使い道

市の予算を、市民一人ひとりに置き換えて見える化しました。

私たちの税金などが、暮らしの中でどの分野に使われているかが分かります。



① 福祉や子育て環境 207,051円

② 暮らしの手続き・施設管理など 64,977円

③ 借入金の返済 48,922円

④ 学校、社会教育 44,969円

⑤ 道路などのまちづくり 44,246円

⑥ 健康や医療対策 22,953円

⑦ 環境やごみ処理 21,432円

⑧ 消防・救急活動 19,883円

⑨ 商工業、観光振興 11,344円

⑩ 農業、水産業の振興 2,285円

⑪ 議会の運営 2,117円

⑫ その他 1,992円

※「市民1人あたり」は、市の予算を人数で割って示した参考値で、実際の負担額を表すものではありません。

01.

子育て・教育環境の 再興（整備・充実）

少子化、共働き世帯など多様なニーズに対し切れ目のない支援を行い、すべての子どもが安心して成長できる体制を実現させます。

出産子育て応援祝いの支給

151,450千円

横須賀市で子どもを産み、育てようとする世代を応援するため、市独自で「出産子育て応援祝い金」10万円を支給します。国の妊婦支援給付金とあわせて、妊婦一人あたり20万円を支給します。

支給額（出産子育て応援祝い金）

- 1回目 妊婦一人あたり5万円
- 2回目 妊娠している子ども一人あたり5万円



詳細：横須賀市HP

5 歳児健診の実施

新規

1,674千円

言語能力や社会性が高まり、発達障害が認知される時期である 5 歳児を対象に健康診査を行い、子どもの特性に合わせた適切な支援を行います。

実施方法

- 対象の幼児のいる家庭全戸へアンケートを送付
- アンケートの回答内容により、健診対象者を抽出し、医師の診察および保健師・臨床心理士・管理栄養士などの相談を実施



公立保育園の再編整備

拡充**616,304千円**

時代に沿った保育ニーズに応えるために、公立保育園を統廃合しながらこども園を整備します。また、老朽化している公立保育園を建て替えるとともに、民営化します。

- 船越保育園の現地建て替え・民営化

令和9年4月民営化予定

- (仮称) 西こども園の整備 令和9年10月開園予定
- (仮称) 北こども園の整備 令和11年4月開園予定



(仮称) 西こども園イメージ図



詳細：横須賀市HP

医療的ケア児の 受入れ体制の強化

拡充

539,575千円

様々な子育てニーズに対応した保育サービスをより充実させるため、令和8年4月に開園する横須賀市立南こども園においても、医療的ケアが必要な児童の受入れを実施します。



令和8年度から受入れ可能な園

2か所 ▶ 3か所

現在受入れ可能な園（公立）

- 中央こども園
- 鴨居保育園

※今後開園する（仮称）北こども園、（仮称）西こども園においても受入れ体制を整えます。



詳細：横須賀市HP

病児・病後児 保育センターの拡充

拡充**54,209千円**

子どもが病気・病気回復期にあり、集団保育が困難な時期に一時的に子どもを預けられる施設を増やします。

施設数の拡充

2 か所 ▶ 3 か所



すでに開所している施設

- 総合医療センター（病児・病後児保育センター）
- 中央こども園（病児・病後児保育センター）



詳細：横須賀市HP

小学校の夏休み期間の 一時預かり

拡充**4,671千円**

夏休み期間中、仕事などで日中の預け先を必要とする家庭が増えることから、留守家庭児童を対象とした一時預かりの実施場所を1か所から3か所に拡充します。

拡充予定場所

追浜地区・久里浜地区

令和7年度実施内容

- 開所場所：横須賀市青少年会館
- 開設時間：8時～18時
- 料金：700円/日



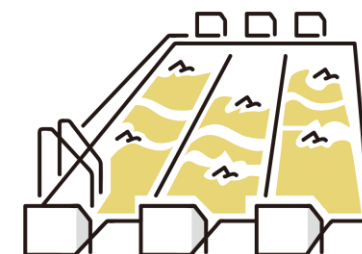
詳細：横須賀市HP

市施設の 子ども料金無料化

新規

20,023千円

子どもの居場所や体験の機会を広げるため、主にスポーツ施設を中心とした市施設について、市内の子ども（中学生以下）の使用料を無料とします。子どもたちが小さい頃からスポーツに親しみ、健やかに成長できる環境を整えます。



対象施設

- 温水プール
- アーチェリー・エアライフル場
- 公園水泳プール
- 相撲場
- 不入斗陸上競技場
- 猿島（入園料）
- トレーニング室
- しょうぶ園
- 弓道場



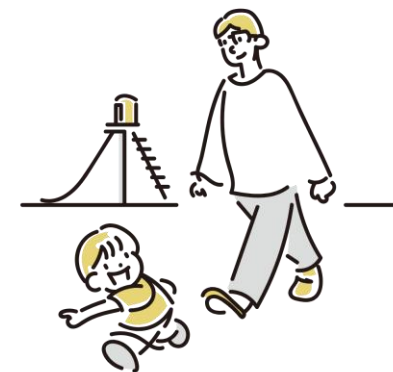
詳細：横須賀市HP

全天候型遊び場など 複合施設の整備の検討

新規

22,000千円

児童図書館、室内の子どもの遊び場、若者が気軽に集える空間などの複合施設の民官連携による整備に向けて、検討を進めます。



令和8年度の主な取り組み

- 事業者へのサウンディング調査

事業採算を含めた実現可能性についてヒアリングを行います。

- 事業者公募資料の作成

ヒアリング結果を踏まえて、法令、制度などの要件を整理し、公募要項の作成を検討

- 土地利活用アクションプランの策定

ICTとデータを活用 した学びの充実

新規・拡充
1,769,497千円

うち令和7年度補正予算：731,714千円

児童生徒一人ひとりのよさや心理・理解状況に応じた学び方やサポート体制を充実させます。

主な施策

- AI英語学習アプリの導入（市立中学校）
- 電子黒板の導入（市立学校）
- 児童生徒一人ひとりの学習履歴、評価などのデータを整備・一元化するためのシステム構築、心の健康観察ツールの導入（市立小・中学校、ろう学校、養護学校）
- 児童生徒、教員端末の更改



誰も一人にさせない 学校づくり

新規・拡充
135,689千円

不登校支援と支援教育を統合的に進め、すべての児童生徒が「自身の個性やよさなどを大事にしながら、自分らしい学び方・生き方ができる」環境を実現します。



主な施策

- 教室に入ることが難しい児童生徒のための居場所や一人ひとりに応じた学びや支援を行うサポートルームの開設
- 不登校対策の適正化を図るための対策推進室を設置し、専門員を配置
- 合理的配慮・基礎的環境整備のガイドラインを作成
- 支援につなげる個別指導計画作成ツールの導入（市立中学校）

安全安心で魅力ある 教育環境づくり

新規・拡充
3,249,428千円

うち令和7年度補正予算：1,102,000千円

全ての児童・生徒が安全安心で快適に過ごせる
 ように、市立学校の教育環境整備を進めます。

主な施策

- 市立学校に通学する児童生徒に対する給食費の支援
 小学生：市給食費と国助成額の差額を市が負担し無償化
 中学生：物価高騰による給食費値上げ分を市が負担
- 遠距離通学となる児童生徒の定期券代を全額助成
- 市立学校体育館への空調整備（令和8年度整備予定19校、令和9年度整備予定17校）
- 市立小・中学校トイレの洋式化（164基）
- 各学校で作成している防災・防犯マニュアルの見直し



家庭や地域と連携した 支援体制の強化

拡充**30,883千円**

学校、家庭、地域の連携を深め、児童生徒一人ひとりの学びや成長を支える環境を整備し、効果的な支援体制を強化します。

主な施策

- 学校と地域をつなぐ地域学校協働活動推進員（コーディネーター）の委嘱
- 部活動の地域展開に向けた取り組み（外部指導員の配置など）



教職員の働き方改革 の推進

教育委員会 教育指導課
支援教育課
保健体育課
教育研究所

拡充

943,319千円

うち令和7年度補正予算：17,688千円

学校と教育委員会が一体となり、働き方改革に取り組み、時間外在校等時間の縮減および教職員の働きがいの向上を目指した取り組みを実施します。

電子ツールの活用

- 電子黒板の導入（市立学校）
- 児童生徒一人ひとりの学習履歴、評価などのデータを整備・一元化するためのシステム構築、心の健康観察ツールの導入（市立小・中学校、ろう学校、養護学校）
- 支援につなげる個別指導計画作成ツールの導入（市立中学校）

地域、民間との連携

- 部活動の地域展開に向けた取り組み（外部指導員の配置など）
- 学校水泳授業の実施にかかる民間・市営の屋内プールの活用



ふるさと納税を活用した 私立学校などの応援

新規

124,000千円

応援したい私立学校などを指定できる「ふるさと納税（寄附）」を募集します。寄附を財源に学校へ助成金を交付し、多様な教育環境整備を進めます。

ふるさと納税額から経費を控除した額を助成

対象：市内に所在する私立学校など（小学校以上）

※新規立地予定の学校を含む



寄付者



寄付先の学校を指定
してふるさと納税



横須賀市



指定された学校へ助成



学校



結婚新生活への支援

拡充

112,177千円

新婚世帯などの新生活を応援する
住宅・引越しなどの費用の助成について
対象年齢を「県内初」40歳代まで広げます。

拡充内容

- 49歳以下の新婚世帯に最大20万円助成

継続実施内容

- 29歳以下世帯へ最大60万円助成
- 39歳以下世帯へ最大30万円助成
- パートナーシップ宣誓者も対象



詳細：横須賀市HP

自然・人文博物館 リニューアル

拡充**73,527千円**

展示の充実と資料保存環境の改善、バリアフリー化を一体で進め「地域学習」と「文化観光」の拠点となる博物館へリニューアルします。
(2030年予定)



今後のスケジュール（予定）

- 令和8～9年度 計画策定
- 令和10～11年度 各種工事（工事中は休館）
- 令和12年度 リニューアルオープン

｜その他の事業

● 産後ケアの拡充 | 48,435千円

産後ケアをより利用しやすくするため、手続きがスマートフォンなどでいつでも簡単にできる予約システムの実証実験を引き続き行います。

● 放課後子ども教室の開所時間延長 | 148,561千円

放課後子ども教室は小学生が安心して、遊び交流できる居場所です。10月～3月までの開所時間を30分延長（16時30分まで）します。

● 民設放課後児童クラブの新規開所 | 1,236,429千円

放課後児童クラブが不足している小学校区（浦郷・鷹取・鶴久保・浦賀）に令和8年4月から新たに民設クラブを開所します。

● 子育て・子育ての魅力発信 | 5,504千円

有識者をアンバサダーに迎え、魅力ある子育て・子育てのイベントや支援を実施し、積極的に情報発信していきます。

● 一時預かり事業所の保育士などの処遇改善 | 1,192千円

待機児童を受け入れる一時預かり事業所の保育士などに対し、公定価格と同等の処遇改善を行うことで労働環境を整え、保育の質を確保します。

｜その他の事業

● RSウイルスの妊婦用予防接種を新設 | 52,668千円

乳幼児が感染すると肺炎発症の可能性があるRSウイルスの感染予防として、妊娠28～36週の妊婦を対象に予防接種を行います。

● 不妊治療の通院交通費の助成 | 560千円

遠方まで通院し交通費の負担が多い方に向けてその一部を助成します。
経済的な負担を軽くし安心して治療に専念できる環境をサポートします。

● 学校の給食室の空調整備 | 580,682千円

小学校、ろう学校、養護学校の給食室に空調整備を行い、調理員の労働環境の改善を進めます。（令和8年度整備予定16校、令和9年度整備予定10校）

● 児童福祉審議会委員に子ども・若者を選任 | 2,147千円

子ども・若者の社会参画・意見反映を目的に、15歳以上の若者を委員に選任し、若い世代の視点や声を市政に反映します。

● 強制執行申立て支援の拡充 | 750千円

離婚後に養育費が支払われない場合の強制執行申立て費用の支援について、補助対象に弁護士などの着手金を追加し、補助上限額を2万3千円から15万円に拡充します。

02.

地域で支え合う 健康と福祉のまちの再興

テクノロジー活用と人のつながりを強化し、必要な支援につながる仕組みを整えて、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

町内会・自治会のデジタル化推進

拡充

11,400千円

町内会・自治会の負担軽減と会員の加入促進につなげるため、デジタル化を支援します。

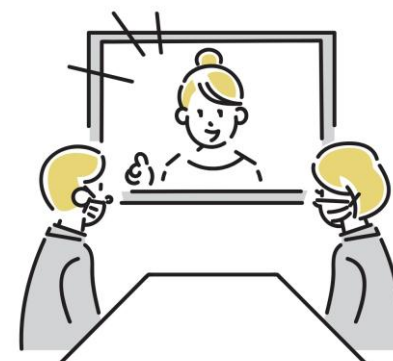
- パソコン購入費などの助成

デジタル化に必要な機器購入や環境整備に要する経費について
1団体当たり最大10万円を助成します。

- 横須賀市連合町内会公式HPの開設など

町内会・自治会加入のメリットや活動を紹介する公式ホームページを開設します。

あわせて、市からの送付物をデータで受け取れるシステムを構築します。



ヘルスケアデータを 活用した健康支援

拡充

17,351千円

市民の健康データをビッグデータ解析することで、健康リスクが高い方を抽出し、支援します。

また、その支援対象を40歳以上の国民健康保険加入者に加えて75歳以上の後期高齢者医療制度加入者の方にも広げます。

主な施策

- 新たな抽出方法により、今までは支援が届かなかった方にアプローチします。
- 糖尿病の重症化リスクが高い方に、保健師や管理栄養士が生活習慣の改善をサポートします。
- 要介護になるリスクが高い方に、フレイル予防や認知症予防の重要性を伝え、介護予防教室への参加を促します。



※イメージ

事業のイメージ図

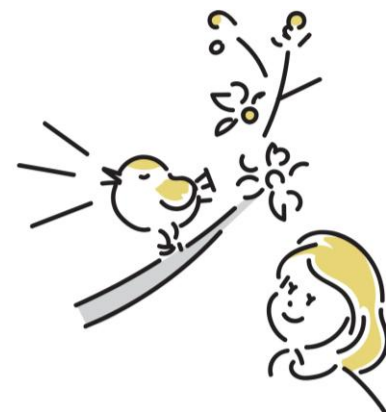


詳細：横須賀市HP

乳がん・子宮頸がん検診 無料対象者の拡充

拡充**11,035千円**

がんの早期発見・検診の習慣化を目的に、
検診を無料で受けられる対象者を拡充します。



- 乳がん検診

今まで

40歳のみ



拡充後

40、42、44歳

- 子宮頸がん検診

今まで

20歳のみ



拡充後

20、24、28歳



詳細：横須賀市HP

看護系大学設置など うわまち病院跡地の活用

37,782千円

病院跡地に看護系大学を設置し、地域に根差した質の高い看護人材の養成を図ります。大学用地以外は、民間事業者による利活用を進めます。

令和8年度の主な施策

- 大学エリアおよび民間エリア活用条件の調査・検討、公募資料の作成
- 民間エリアの土地鑑定評価
- 解体工事に関する設計業務

今後の計画（予定）

- 令和9～11年度：既存建物解体工事など
- 令和12～13年度：大学整備工事、民間エリアの施設整備



利活用エリア（想定）



詳細：横須賀市HP

親なき後の将来に向けた 障害者施策の充実

新規・拡充

43,071千円

障害のある人が家庭や生活の状況が変化しても、
安心して地域で暮らすことができる環境を整備します。

主な施策

- 医療的ケアの必要な人や行動障害のある人を受け入れるグループホームを増やします。
- 医療的ケアの必要な人の移動支援を充実させるとともに、自力での通所を訓練するための移動支援を開始します。
- 通所事業所による送迎を促進するため、送迎に係る費用の助成を拡充します。
- 障害福祉関係者と連携して、緊急時などのセーフティネットとなる「地域生活支援拠点」を整備します。
- 障害福祉サービス事業所などに職員の研修費用を新たに助成します。



詳細：横須賀市HP

障害のある人が安心して暮らせる支援体制の充実

新規・拡充

9,307千円

障害のある人が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、日常生活や就労支援、医療、コミュニケーション環境の充実を図ります。

主な施策

- 夏季の訪問入浴サービスを月4回（一部の利用者は月6回）から月8回に増やします。
- 企業や自営などで働く重度の障害のある人に対して、職場などにおける介助や通勤の支援を新たに実施します。
- 障害者歯科診療所において全身麻酔などによる治療が行える体制を整備します。
- 通訳オペレーターを介して、手話で市役所に電話ができるサービス（手話リンク）を新たに導入します。



詳細：横須賀市HP

生成AIを活用した 福祉の先進取り組み

新規

9,350千円

24時間365日いつでも対応できる生成AIの特徴を生かし、人による相談とあわせて、より充実した福祉の相談体制を構築します。

- 福祉相談サービス

専門家監修のAIによる傾聴と職員による有人支援を組み合わせた、ハイブリッド型相談窓口の構築を目指します。

- 認知症予防会話サービス

AIと音声で会話することが脳の健康に役立つ可能性があるため、企業や研究機関と連携し効果の検証や普及活動を行っていきます。



詳細：横須賀市HP

介護人材確保に向けた支援の拡充

新規

29,209千円

介護サービスを必要な時に十分に提供できる体制を整えるため、介護人材の確保に向けた支援を拡充します。

- ケアマネ資格更新研修費の助成

費用によりケアマネの資格更新をためることがないように、法定研修費用の自己負担額の全額を助成します。

- 訪問ヘルパー事業所への助成

訪問ヘルパー事業所が継続してサービスを提供できるように、採用活動や人材定着の研修、経営改善につながる協働化などにかかる費用を助成します。



民生委員児童委員の 活動支援

拡充

75,487千円

日頃から地域のために様々な活動にご尽力いただいている「民生委員児童委員」の負担軽減のため、会議参加や訪問活動に伴う交通費・通信費などに使用する活動費を増額します。

今までの活動費

9,000円/月



増額後の活動費

10,000円/月



まちなか元気プログラム によるフレイル予防

新規

974千円

町内会館などの身近な場所で、気軽に運動や交流ができるよう、動画配信システムを活用したフレイル予防活動に取り組みます。

主な内容

- 対象者：65歳以上の方
- 場 所：町内会館など身近な集まりやすい場所
- 形 式：市民主体でスマートフォンなどを使い、動画を見ながら体操や脳トレを実施
- 特 徴：無理なく気軽に健康づくりが可能
交流拠点での開催により、多世代の交流につながる



本庁舎窓口の 休日開庁

新規

1,515千円

5月から本庁舎で窓口の休日開庁を始めます。
平日にお越しいただけない方も、住所異動届
などの手続きがご利用いただけます。

休日開庁時間

- 毎月第2土曜日 8時45分～12時00分

利用可能な手続き

- 住所異動（転入・転居・転出など）
- マイナンバーカードの電子証明書更新など
- 印鑑登録・証明発行（住民票・現戸籍謄抄本、印鑑証明）



｜その他の事業

● スクールコミュニティ支援 | 1,030千円

地域と小学校が連携して交流行事や授業などに取り組む支援学校区を14学校区に増やすとともに、取り組みに必要な地域との連絡・調整や必要経費を支援し、地域のつながり強化を目指します。

● 行政センター改革の推進 | 17,975千円

市民の暮らしに身近な行政センターを地域コミュニティの拠点として強化するとともに、窓口サービスにおける市民サービスの向上、業務にかかるトータルコストの縮減を両立させる行政センター改革を進めます。

● 地域フォーミュラリの支援 | 547千円

地域フォーミュラリは医師や薬剤師が連携して標準的な治療を推進するために医薬品リストと使用方針を示すもので、この周知・啓発のための講演会開催や地域の薬剤使用量集計データの提供などの支援を行います。

● 看護師確保対策の支援 | 1,122千円

看護師不足対策として、研修・キャリアカウンセリング・合同就職説明会などを実施し、看護師の定着・再就職、養成を支援します。

｜その他の事業

- **マイナ救急による救急活動のDX化 | 1,224千円**

救急隊員が患者のマイナ保険証で過去の受診歴や処方情報を確認し、患者や家族の負担を軽減し、適切な病院の選定や処置に繋がります。

- **救急救命士の養成促進 | 6,102千円**

救命率向上のため、年間養成者数を2名から3名に増員します。

- **リハビリ職の自宅訪問の開始 | 750千円**

リハビリ専門職が、地域包括支援センター職員に同行して要支援認定者などの自宅を訪問し、必要な介護サービスについて助言します。

- **障害者のための自動車運転免許取得費用助成対象の拡充 | 300千円**

運転免許取得費用の助成（対象経費2/3、上限額10万円）の対象者を身体障害者に加え、知的障害者・精神障害者に拡充し、就労や社会参加を支援します。

- **後期高齢者の介護予防事業の体制変更 | 1,409千円**

健康福祉センターを拠点に、フレイルリスクの高い高齢者への支援や介護予防教室の開催など、より地域に根ざしたきめ細やかなサポートができる体制を整えます。

｜その他の事業

● 子ども・若者の自殺対策の推進 ｜ 460千円

自殺対策推進協議会の中に、子ども・若者に特化した情報の共有や、必要な対処および支援などの措置に関して検討する場を設置し、専門家・学校関係者とともに、相談・支援の体制の充実を図ります。

● 社会福祉推進委員活動費の補助 ｜ 9,300千円

民生委員の活動に協力する社会福祉推進委員を支援するため、市社会福祉協議会から支給される活動費を補助し、一人あたり月額450円から月額500円に増額します。

● 犯罪被害者などへの日常生活支援の充実 ｜ 4,145千円

犯罪被害者などに寄り添い、見舞金や助成金の支給、法律相談などの支援を行い、日常生活を取り戻してもらうことを目指します。

● 地域の安全安心の支援 ｜ 15,893千円

市民協働による横須賀パトロールランウォークの実施や、迷惑電話防止機能付き電話機の購入費補助など、犯罪抑制のための施策を展開し、安心して暮らせるまちづくりを推進します。

03.

経済・産業と観光による にぎわいの再興

地域資源の魅力発信と観光誘客を強化し、市内産業振興を進め、新たなまちづくりと移住定住を促進します。

浦賀駅前周辺地区の 活性化

浦賀レンガドック周辺の市有地と住友重機械工業株式会社所有地との一体的な開発を進め、地域の活性化を図ります。

主な施策

- 再開発に向けた土地利用規制の緩和手続き
- 市有地の基本計画策定

今後のスケジュール

- | | |
|------------|------------------------------|
| ● 令和8～9年度 | 基本計画の策定、土地利用の規制緩和
実施協定の締結 |
| ● 令和9～10年度 | 設計、基盤整備・建築など整備工事 |
| ● 令和11年度以降 | 段階的な供用開始 |



再開発後のイメージ



詳細：横須賀市HP

大矢部みどりの公園 新規オープン

607,100千円

うち令和7年度補正予算：316,544千円

古くから残る貴重な自然環境や、三浦一族ゆかりの歴史資産など、唯一無二の特徴を最大限生かした公園づくりを進めます。民間事業者と連携して整備・運営し、交流・学び・防災機能を備えます。



イメージ図：大矢部みどりの公園

主な整備内容・機能

- 大屋根広場
平 時：交流やマルシェ
緊急時：物資配送・集積拠点
- マインドフルネステラス
● 農業体験・環境学習
● 体験型レストラン

整備スケジュール

- 令和8～9年度 設計・整備
- 令和10年4月 オープン予定



詳細：横須賀市HP

大河ドラマを活用した 観光周遊の促進

新規

52,682千円

横須賀市にゆかりのある小栗上野介忠順公が主人公の大河ドラマの放送を契機に、観光誘客と周遊促進および市民の郷土愛の醸成を図ります。

主な施策

- 関連施設での特別展示
(ティボディエ邸・ヴェルニー記念館など)
- ツアーの企画・お土産開発などのコンテンツ造成
- ゆかりの地域(高崎市など)との相互送客・PR
- ヴェルニー・小栗祭式典に合わせた関連企画
(ドライドック見学ツアーなど)



小栗上野介忠順公(写真中央)

三笠公園リニューアル

拡充**924,057千円**

うち令和7年度補正予算：107,210千円

世界三大記念艦の一つ「三笠」がある三笠公園。
令和9年4月に、市内周遊や交流の起点となる
公園に生まれ変わります。

主な整備内容

- 民間事業者と連携し、音楽イベントやアールスポーツが楽しめる多目的広場を整備
- カフェや店舗などの魅力的な民間施設を導入
- 来園者の利便性・安全性を向上させるため、三笠公園通りの歩道を再整備

今後のスケジュール

- 令和8年度 公園の設計・整備、歩道改良
- 令和9年度 リニューアルオープン



リニューアル後のイメージ



詳細：横須賀市HP

猿島の魅力アップ いつでも快適に

新規

26,845千円

従来のパラソルに代わり、広々とした開閉可能な日除けを設置します。

- 島内を散策した後は、家族や友人と砂浜や釣りを楽しみ、日陰で潮風を感じながらひと休み。強い日差しを防ぎ、特別なくつろぎの時間を提供します。
- 令和8年7月完成予定



設置予定の日除けのイメージ

西地区の魅力向上 宿泊施設×交流拠点

34,000千円

うち令和7年度補正予算：34,000千円

民間事業者と連携のうえ、秋谷老人福祉センター跡地を宿泊施設として活用します。また、地域の活動スペースとしても利用することで、西地区の魅力を高めます。

今後のスケジュール

- 令和8～9年度 レッドゾーン対策（調査・設計、工事）
地域活動スペースの設計
- 令和9～10年度 地域活動スペース整備工事
宿泊施設整備（設計・工事）



完成イメージ図



詳細：横須賀市HP

市街地の再開発促進

拡充

638,402千円

まちの中心部の魅力や暮らしやすさ、防災性の向上を目指したまちづくりを推進します。

対象地域

- 若松町1丁目地区
再開発事業に対する補助金の交付など
- 追浜駅前第2街区
再開発事業の質を向上させるための調整や新図書館の検討など
- 横須賀中央駅および京急久里浜駅周辺の7地区
再開発事業を含めた様々な手法によるまちづくりの検討など



参考：再開発ビルのイメージパース
若松町1丁目地区市街地再開発組合作成



詳細：横須賀市HP

追浜駅周辺の まちづくりの推進

63,366千円

バスタ追浜を中心とした駅周辺事業を国とともに推進し、地域と連携して三浦半島の北の玄関口にふさわしい魅力ある賑わい・交流空間をつくりま

す。
「追浜えき・まち・みちデザインセンター」を核とした地域連携による“まちづくり”の推進

- 「追浜えき・まち・みちビジョン」の実現に向け、
「情報発信・収集、調査／実践、課題解決」の取り組みを強化
- 駅周辺事業間での的確な調整などにより円滑な整備を促進
(バスタ追浜、国道357号および追浜夏島線など)



将来の駅周辺イメージ図



詳細：
デザインセンターHP

追浜夏島線の拡幅

拡充

208,581千円

国道357号（八景島～夏島町）の延伸に伴う交通量の増加に対応するため、市道追浜夏島線を拡幅します。

また、拡幅に伴う鷹取川の整備については、様々な視点から整備のあり方について検討します。

事業内容

- 追浜夏島線の拡幅整備（追浜駅前～神応橋付近）に伴う測量・建物調査など
- 鷹取川整備の基本設計
- 追浜夏島線と鷹取川を一体的に捉えた空間づくりの検討



追浜夏島線整備イメージ

新港のふ頭新設による 物流機能の強化

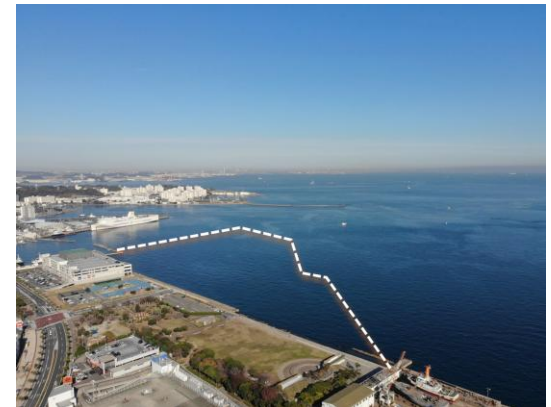
12,397千円

横須賀港の特徴である、首都圏への迅速な物流アクセスを生かし、新港地区の新たなふ頭計画を進めます。

物流機能を強化し、貨物取扱量の増加を通じて、地域経済の活性化に繋げていきます。

主な内容

新規ふ頭の早期利用を目指し、工事を効率的に進めるための設計検討を行います。



新規ふ頭のイメージ

中小企業の前向きな 取り組みを支援

新規

34,324千円

市内中小企業の経営改善、労働環境の改善、従業員の利便性の向上など、様々なチャレンジを支援します。

主な施策

- 経営アドバイザー派遣費用の負担軽減
補助額：中小企業などが負担する額の4/5
- 信用保証料の補助による資金借入の負担軽減（専門家の派遣支援を受けて制度融資を利用する場合）
補助額：補助率10/10 上限額40万円
- 製造業の就労環境整備支援（更衣室、トイレなど）
補助額：補助率1/2 上限額500万円
- YRP進出事業者 生活支援施設（コンビニなど）の誘致強化
補助上限額：300万円



中小企業の人材確保と 多様な求職者への支援

新規・拡充
25,000千円

市内企業の人材確保につながる働きやすい
職場づくりや採用力向上を支援します。
また、就職氷河期世代を含む多様な方々の
キャリアアップを応援します。



主な施策

- 建設業の熱中症対策費用の助成
- 企業の課題に合わせた多様なセミナー（採用活動強化・DX）による人材不足対応力強化支援
- 採用活動強化に向けたホームページ・動画作成費用の助成
- 高度ITスキル取得のための講習受講費に対する助成（個人向け）

よこすか野菜 農地活用推進と販路拡大

拡充

5,794千円

市内の農地を活かして、旬で美味しいよこすか野菜が育つ環境を広げます。さらに、付加価値の向上や販路の拡大により、農業の活性化を図ります。

主な施策

- 農地マッチングの推進による農地の活用促進
- 有名飲食店とのコラボによる認知度の向上
- 市内外の新たな飲食店への販路拡大の支援



詳細：横須賀市HP

よこすか海の幸 沿岸域の再生と養殖推進

拡充

11,850千円

魚や貝などのすみかとなる藻場の再生（磯焼け対策）や新たな特産品につながる養殖の支援により、水産業の活性化を図ります。

● 磯焼け対策

潜水漁業が盛んな長井沿岸で、地元漁業者・研究機関・企業が連携し、魚や貝などのすみかとなる藻場づくりをより効果的に進めます。漁獲量の回復につなげ、地元の新鮮な水産物の安定供給を目指します。

● 養殖

- ・ ヒオウギガイ養殖（湘南漁業協同組合佐島支所）
- ・ サーモン養殖（横須賀市東部漁業協同組合鴨居支所）
- ・ 牡蠣養殖（長井町漁業協同組合）



磯焼け対策（海藻のタネまきや移植）



詳細：横須賀市HP

関係人口の拡大 移住・定住の促進

拡充

21,733千円

関係人口の創出、将来的な定住人口の拡大に向け
様々な取り組みを行います。

- よこすかファンクラブ

様々なジャンルにおける「横須賀でしか得られない」ニッチな
情報を発信し、「よこすかファン」を増やします。

- よこすか体感ツアー

子育て世代を対象にした横須賀の魅力を体験できるツアーの実施

- 子育て応援サイト「すかりぶ」のリニューアル

ホームページリニューアルおよびLINE、Instagramでの情報発信

- 学生寮として活用する民間賃貸物件への助成

不動産事業者・学校・市の三者が連携し、学生寮として活用する
民間賃貸物件のリニューアルを支援する補助制度を新設



詳細：横須賀市HP

路線バス自動運転 プロジェクトの始動

新規

22,860千円

運転士不足への対策として、京浜急行バス・ソフトバンクと共同事業体を組み、YRPエリアの既存路線で路線バスの自動運転の実証実験を行います。

今後の予定（目標）

- 令和9年度 自動運転レベル4認可・単車の実装
- 令和10年度 自動運転レベル4認可・隊列走行の実装

※自動運転レベル4

特定条件下において、システムが全ての運転操作を実施するもの



実証実験で使用する車両



詳細：横須賀市HP

愛宕山公園リニューアル

90,000千円

明治24年の開園から136年。
中島三郎助、咸臨丸、与謝野鉄幹・晶子の碑。
浦賀の歴史を見守ってきた市内最古の公園が、
令和9年4月、浦賀港を望む、歴史と憩いの空間
として生まれ変わります。

主な整備内容

- 展望デッキ
- 階段整備（手すりなど）
- 安全柵設置
- 植栽、植樹
- 路面舗装
- サイン看板設置



美術館開館20周年 記念企画展

拡充

465,797千円

横須賀美術館開館20周年を記念して、令和9年1月から12月にかけて国内外の近代・現代美術を中心とした企画展を開催します。

令和8年度の主な内容

- 開館20周年 大規模企画展
集客力の高い大規模企画展を民間事業者との連携により開催します。
- 開館20周年 トーベとムーミン展
ムーミンの作者「トーベ・ヤンソン」の初期の油彩画や原画など約300点を展示。創作の世界を味わえます。
- 児童生徒造形作品展
市立の小・中・高・ろう・養護学校の児童・生徒作品約3,000点を展示



商店街ポイント還元 キャンペーンの実施

新規
170,000千円

物価高騰に直面している生活者を支援するとともに、商店街の振興のため、商店街に加盟している店舗のキャッシュレス化を後押しし、消費増加と新たな顧客層を獲得できるように、ポイント還元キャンペーンを実施します。

実施場所

市内全域の商店街で実施予定



｜その他の事業

● 三浦半島最高峰である大楠山の再整備 ｜ 23,569千円

山頂のビューハウス・展望塔の撤去と樹木剪定で眺望を確保、快適に利用できる大楠平公衆トイレを整備し、大楠山の魅力を高めます。

● 横須賀港を活用した市内経済の活性化 ｜ 6,246千円

新規ふ頭の整備に向けた航路誘致やさらなる集荷を進めるため、九州でのPR活動を強化します。

● ふるさと納税の拡大 ｜ 555,413千円

ふるさと納税の返礼品として横須賀ならではの産品を発掘し、寄附の拡大を図り、地域経済の活性化と市の取り組みの財源確保につなげます。

● 文化会館の改修 ｜ 254,271千円

大ホールおよびホワイエの特定天井の落下防止工事のほか、照明のLED化など、より安全で快適にお使いいただける改修を行います。

● メタバースを活用したPR ｜ 17,000千円

メタバースを活用する他自治体とも連携し、さらなる観光PRやデジタル人材の育成を実施します。

| その他の事業

- **基地が発注する仕事の受注を支援する取り組み | 197千円**

米軍基地内の建設工事に必要な資格（SSHO）取得の機会を提供するほか、米軍や自衛隊などが発注する業務に関する情報提供を行います。

- **南処理工場跡地の利活用 | 32,862千円**

南処理工場跡地について、民間事業者による利活用を図るため、公募に向けた準備として測量登記、不動産鑑定などを実施します。

- **踏切道内誘導表示の設置 | 14,300千円**

駅と福祉施設などの間の踏切や前後の歩道に点字誘導表示を設置し、視覚障害者の安全な通行をサポートします。

04.

安全・安心でずっと 住み続けたいまち

市民の生命と財産を守るため、自助・共助・公助が連携した防災体制を一層高め、災害時にも安全・安心が確保されるまちづくりを推進します。

ヘリコプター 臨時離着陸場の環境整備

新規

3,949千円

大規模災害時に道路や航路が使用できない場合でも、物資を速やかに受入れ・配送できるように、ヘリコプターの臨時離着陸環境を整備します。

場所

市営公園墓地の敷地を活用

環境整備のために用意する資機材

- 夜間用LED投光器
- 芝生や砂利道でも安全かつ確実に物資を運べる
キャタピラ付きかご台車



臨時離着陸場のLED投光器・かご台車

災害用物資の 備蓄量アップ

拡充

118,142千円

災害に備えた防災備蓄基地の整備を進め、災害用物資を増備します。

災害時に物資を避難所へ配送後は、応援物資の受入れ・配送拠点として活用します。

災害用物資の備蓄量

避難者一人当たり1日分から3日分へ増やします

主な備蓄品の内容

- アルファ化米
- 液体ミルク
- ビスケット、パン
- 毛布
- 乳幼児、大人用おむつ
- 保存水
- 携帯トイレ
- 生理用品



参考：防災備蓄基地のイメージ

体育館（避難所）への 空調設備の整備

拡充
2,187,400千円

うち令和7年度補正予算：1,102,000千円

運動時や教育活動における熱中症・体調不良を防ぐとともに、避難所として使用する際の避難者の心身の健康を守るため、北体育会館および学校体育館に空調設備を整備します。



設置スケジュール

- 令和8年度整備予定：市立学校19校
- 令和9年度整備予定：市立学校17校、北体育会館
- 令和10年度整備予定：市立学校17校
- 令和11年度整備予定：市立学校18校

上町地区浸水対策の 推進

拡充

547,000千円

浸水被害が発生している上町地区において、
浸水対策を着実に進めます。

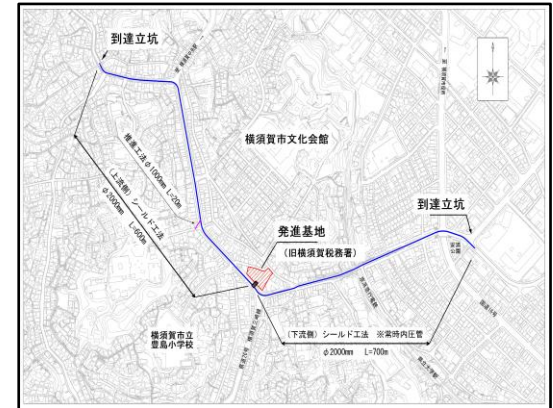
(総事業費合計 63億円)

今後のスケジュール

- 令和8年度 事業用地取得、建物解体
- 令和8～9年度 シールドマシン製作
- 令和10～11年度 シールド工事

※シールドマシン

地面を掘り進みながら、同時にトンネルの壁をつくる
大型の掘削機械



計画位置図



詳細：横須賀市HP

備蓄物資管理の効率化

新規

1,785千円

防災備蓄基地や震災時避難所に備蓄している物資の管理を業務委託し、平時から災害時まで、システム上で効率的に確実に管理できる体制を整備します。

主な効果

- 平時：備蓄物資の棚卸しなど、日常管理の効率化
- 災害時：備蓄物資の払い出し、残数管理の効率化
- 災害時：支援物資の受入れ・仕分け・配送の効率化



参考：備蓄物資のイメージ

避難所の情報通信環境 の強化

新規・拡充
14,575千円

震災時避難所などにおいて、スマートフォンなどを活用して受付し、効率的に避難者の管理ができるシステムを整備します。

また、予備電源などを用意し、非常時の情報収集・発信を可能とします。



主な効果

- 受付時間の短縮などによる避難者の利便性向上
- 避難所や災害対策本部での避難者集計の効率化
- 自宅避難など、避難所外避難者の把握が可能に
- 避難所の情報収集・発信機能の強化

｜その他の事業

- **地域医療救護所の医薬品などの有効活用 | 3,024千円**

地域医療救護所の一つである救急医療センターの災害時備蓄医薬品などを、ローリングストックとして活用し、医薬品などのロスを削減します。

- **住宅の耐震補強工事などへの助成 | 44,396千円**

地震に強いまちづくりを推進するため、耐震診断や耐震補強工事に関する費用の一部を助成します。

- **消防総合訓練センターの改修 | 513,312千円**

消防総合訓練センターを消防職団員の災害対応力強化につながる実践的な訓練施設となるように改修します。

- **火災予防分野のDX推進 | 7,062千円**

火災予防関係の申請を電子化し、受付から処理までを効率化します。

05.

未来につなぐ 環境の保全と創出

気候変動の影響が顕在化する中、海や緑という「かけがえのない財産」を守るため、市民・企業と連携し、次世代につなげていきます。

環境政策の一体的な 推進

拡充

5,000千円

横須賀の豊かな自然と快適な生活環境を次世代へ継承するため、新しい組織を設置し、脱炭素・自然環境保全・生物多様性などの取り組みを一体的に進めます。また、情報発信と環境教育を強化して、市民に身近な環境をわかりやすく伝えます。



長坂緑地（自然環境保全）

- 俯瞰的、一体的な情報発信

身近な横須賀の環境について、俯瞰的かつ一体的に情報発信するポータルサイトを構築します。

- 環境教育の充実

オンラインでいつでも・どこでも学べる動画コンテンツを整え、学びの機会を充実させます。



ブルーカーボンの取組（脱炭素）74

三浦半島連携による ブルーカーボンの推進

3,190千円

三浦半島 4 市 1 町や民間企業などと連携し、藻場の再生・保全によるCO₂吸収（ブルーカーボン）の取り組みを推進します。脱炭素と豊かな海の再生を両立し、地域全体で持続可能な海づくりを進めます。

- 海草の植え付け体験会

三浦半島の子どもたちが、市民団体と一緒に海草を植え付けます。藻場を増やすとともに、身近な海の環境や生態系への理解を深めます。



植え付け体験会（令和 7 年度）

- 藻場保全のモニタリング

藻場保全エリアの面積を測定し、CO₂吸収量を算定することで、取り組みの効果を可視化します。



詳細：横須賀市HP

三浦半島4市1町連携 太陽光パネルなどの助成

234,754千円

2050年のゼロカーボンシティの実現を目指し、三浦半島の4市1町で連携し、太陽光パネルなどの設備の導入費用の一部を助成します。

環境省「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）」を活用

対象者 市民・中小企業など

対象設備

- 太陽光発電設備
- 蓄電池 ※太陽光発電設備と同時設置の場合のみ
- LED照明 ※中小企業など向け



太陽光発電設備



詳細：横須賀市HP

｜その他の事業

- 資源循環を進める拠点回収ブースの整備 ｜ 1,577千円

資源ごみの拠点回収ブースを整備し、市民が利用しやすい回収環境を構築することで、資源循環の促進と市民の利便性向上を両立させます。

- 森を守る支援制度の拡充 ｜ 1,566千円

市街地の樹林地などの保全契約者を対象に毎年の支援金交付に加えて、令和9年度から維持管理委託費を半額助成する支援制度改正を検討します。

06.

その他重点施策

民官連携推進事業

経営企画部 企画調整課
デジタル・ガバメント推進室
環境部 環境施設課
健康部 健康増進課
ほか

民間事業者との連携により、防災・福祉・子育て・産業振興・環境など、より良い行政サービスを提供します。また、国や民間を含めた市内の事業用地・施設について、意欲のある事業者との対話を通じて、利活用を目指します。

主な事業

- うわまち病院跡地の利活用
- 南処理工場跡地の利活用
- 全天候型遊び場など複合施設の整備
- ヘルスケアデータを活用した健康支援
- 防災力強化に向けたデジタル技術の活用



横須賀市民官連携
WEBサイト

生成AIのさらなる活用

拡充

9,994千円

全国の自治体で初めて生成AIを全庁活用した横須賀市。さらに生成AIを活用し、効率的な行政経営と、よりよい市民サービスの提供を目指します。

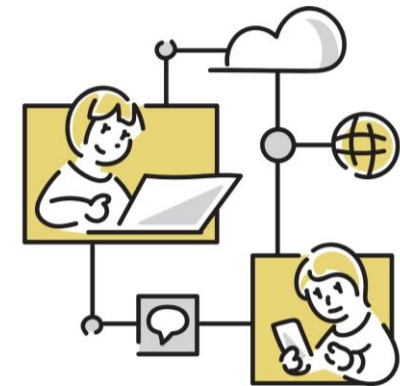
- 新しい生成AIツールを全庁導入し、さらなる業務効率化を実現します。
- 民間企業と連携し、生成AIの研究・実証・業務への活用を行います。
- 先駆的に取り組んだ事例、蓄積した知見を活用するとともに、全国の自治体にも共有します。



職員事務システム の見直し

新規
1,348,625千円

高騰する情報システム維持費に対し、職員の事務環境にクラウドサービスを本格導入することで、将来的なシステム運用コストの抑制を図り、持続可能な行財政運営を目指します。



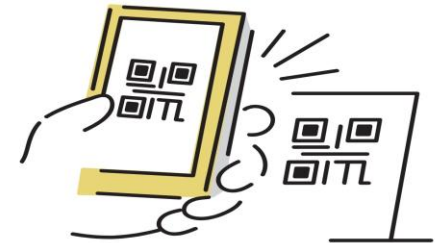
- クラウドサービスへの移行で
将来にわたり持続可能なコスト構造へ転換
- 生成AIの活用をさらに高度化し、創出した時間で
対人支援や創造的業務に注力
- 災害時でも行政機能を維持

キャッシュレス化の推進

新規

37,257千円

市民や事業者などが各種料金を支払う場合に、現金だけでなく、二次元コードを利用したスマホ決済やクレジットカード払いなどのキャッシュレス決済を利用できるようにします。



主な対象

- 小学生の夏休み一時預かり利用料
- 青少年会館使用料
- 情報公開手数料
- 長期優良住宅認定申請手数料
- 道路占用料
- 港湾施設使用料 など

三浦半島4市1町連携 のさらなる推進

市長室 危機管理課
経営企画部 企画調整課
都市戦略課
環境部 広域処理センター
港湾部 港湾企画課
港湾管理課
教育委員会 学校食育課

三浦半島4市1町の共通課題解決に向け、
広域連携をさらに進めます。

- 三浦半島首長連合会議（MU）の開催
- 災害対策の推進
 - ・ 地震被害想定調査結果を踏まえた相互支援策の検討
 - ・ 防災力強化に向けたデジタル技術の活用（NTT東日本と連携）
 - ・ 防災キッチンカーの運用（日本テレビと連携）
 - ・ 海路による物資輸送の円滑化など支援体制の強化
- 地球温暖化対策の推進
 - ・ 太陽光パネルなど設備導入費用の一部補助
- 公共施設の共同利用の検討
 - ・ ごみ処理施設、学校給食センターなど

その他重点施策



NTT東日本×三浦半島4市1町
防災広域連携協定の締結

新しい公園遊具を整備

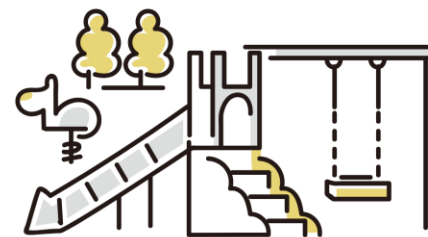
新規

1,122千円

老朽化した遊具を新しい遊具へとリニューアルします。

子どもたちに親しまれる遊具へ早期に更新し、より快適で安全な公園づくりを進めます。

- 住宅地にある公園全ての遊具が対象
- 遊具の選定に向けたアンケートを実施し、利用者のニーズに合った遊具に更新
- 子どもたちの人数に応じた適切な遊具数に調整



市政情報をより身近に SNSによる発信強化

新規

10,000千円

市の支援策など、市民に役立つ情報を届けるため、
Instagramアカウントを新たに運用・展開します。

支援策を
知る・使う ▶ 市民の
満足度向上 ▶ 横須賀に
住んでよかった

視認性の高いSNSツール「Instagram」の運用を
事業者に委託

- ・ 市政情報をわかりやすい写真や言葉で発信
- ・ 横須賀市に興味を持ってもらえるようなキャンペーン企画を実施



DXの推進

行政事務の効率化とよりよい市民サービスを提供するため市役所のDXをさらに進めていきます。

市民サービスの向上

- 生成AIを活用した福祉相談サービス
- 窓口まち人数配信システム
- 美術館駐車場のカメラ式駐車場の導入 など

業務の効率化

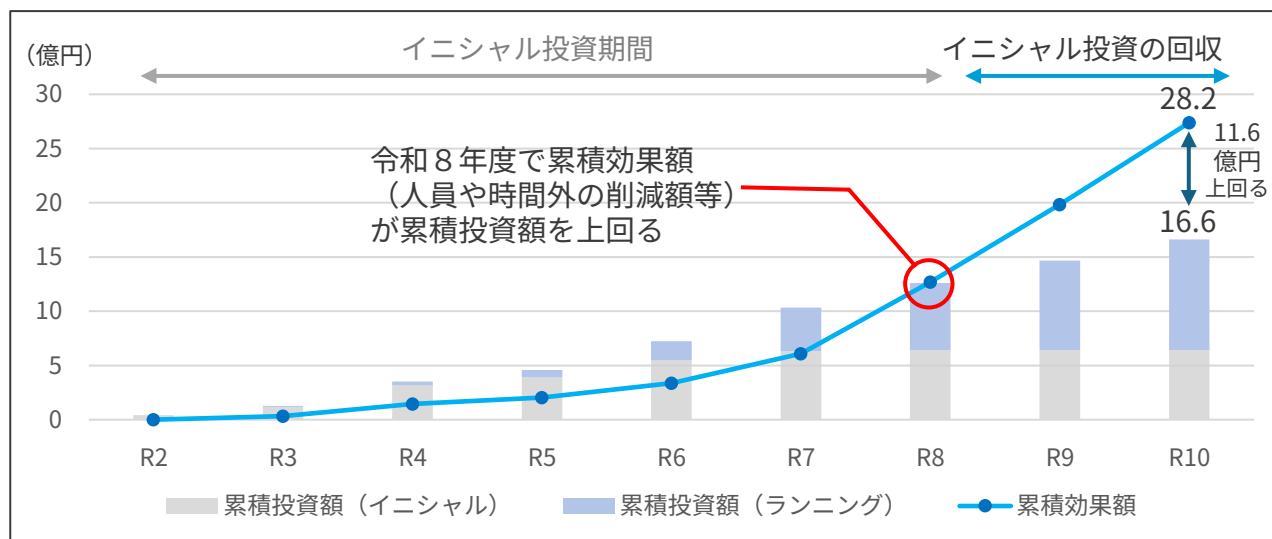
- 生成AIの活用的高度化
- 適正検査のオンライン化（職員採用試験）
- 電子黒板の拡充 など



● 令和2～7年度のDXの主な取り組み

令和2年度～	業務用チャットの導入、RPAの導入、書かない窓口
令和3年度～	介護保険の認定調査の効率化
令和4年度～	図書館のICT化（自動貸出など）
令和5年度～	生成AIの導入
令和6年度～	総務事務センター、電子商取引サービスの導入
令和7年度～	Web広報、選挙投票システムの導入

● 令和2～7年度のDXの投資に対する効果



| その他の事業

● 産業交流プラザへのマイナンバーカード窓口新設 | 159,121千円

窓口数を増やすことで混雑緩和・業務効率化を図り、市民サービスを向上させます。

● デジタルを活用した発信強化DX | 7,700千円

令和8年度に構築する「Yokosuka Plus（写真や見出しなどで構成された見やすく、検索しやすいサイト）」に発信情報の入力フォームを搭載。情報を集約、一元管理し、さらに、他の広報媒体（広報紙、報道発表資料、SNSなど）で発信できるように連携させます。これによりタイムリーな情報発信と広報業務の効率化を図ります。

● 森崎アパートの安全対策 | 10,604千円

住宅の一部に耐震性不足が認められるため、その解消のための整備基本計画の策定および効率的な事業実施に向けた検討を進めます。

● 包括的民間委託によるインフラの維持管理 | 48,950千円

道路・公園の管理など個別に発注していた業務を民間事業者にとまとめて委託し、効率化やコスト最適化、サービスの維持向上に繋がります。

付属資料

APPENDIX

各会計の予算額および伸び率

(単位：千円)

会計名	令和7年度	令和8年度	増減	伸率 (%)
一般会計	179,590,000	180,120,000	530,000	0.3
特別会計	111,061,000	115,994,000	4,933,000	4.4
国民健康保険費	40,160,000	41,175,000	1,015,000	2.5
公園墓地事業費	371,000	458,000	87,000	23.5
介護保険費	43,654,000	44,856,000	1,202,000	2.8
母子父子寡婦 福祉資金貸付事業費	69,000	67,000	△ 2,000	△ 2.9
公債管理費	18,281,000	19,833,000	1,552,000	8.5
後期高齢者医療費	8,526,000	9,605,000	1,079,000	12.7
企業会計	50,427,000	54,340,000	3,913,000	7.8
水道事業会計	17,529,000	17,940,000	411,000	2.3
下水道事業会計	28,471,000	31,228,000	2,757,000	9.7
病院事業会計	4,427,000	5,172,000	745,000	16.8
合計	341,078,000	350,454,000	9,376,000	2.7

一般会計予算の前年度との比較 款別予算比較（歳入）

（単位：千円）

款		令和7年度		令和8年度		比較	
		当初予算額	構成比(%)	当初予算額	構成比(%)	増減	伸率(%)
1	市税	62,342,054	34.7	63,235,381	35.1	893,327	1.4
2	地方譲与税	681,751	0.4	656,000	0.4	△ 25,751	△ 3.8
3	利子割交付金	27,000	0.0	167,000	0.1	140,000	518.5
4	配当割交付金	501,000	0.3	669,000	0.4	168,000	33.5
5	株式等譲渡所得割交付金	815,000	0.4	943,000	0.5	128,000	15.7
6	法人事業税交付金	919,000	0.5	937,000	0.5	18,000	2.0
7	地方消費税交付金	9,062,000	5.0	10,686,000	5.9	1,624,000	17.9
8	ゴルフ場利用税交付金	23,000	0.0	23,000	0.0	0	0.0
9	環境性能割交付金	213,000	0.1	2,000	0.0	△ 211,000	△ 99.1
10	国有提供施設等所在市町村助成交付金	2,315,981	1.3	2,361,329	1.3	45,348	2.0
11	地方特例交付金	315,644	0.2	541,528	0.3	225,884	71.6
12	地方交付税	19,547,000	10.9	19,601,000	10.9	54,000	0.3
13	交通安全対策特別交付金	41,874	0.0	38,269	0.0	△ 3,605	△ 8.6
14	分担金及び負担金	256,599	0.1	289,326	0.2	32,727	12.8
15	使用料及び手数料	3,909,017	2.2	4,487,288	2.5	578,271	14.8
16	国庫支出金	33,036,123	18.4	32,208,121	17.9	△ 828,002	△ 2.5
17	県支出金	11,828,904	6.6	12,989,196	7.2	1,160,292	9.8
18	財産収入	335,320	0.2	758,018	0.4	422,698	126.1
19	寄附金	1,414,897	0.8	1,347,937	0.8	△ 66,960	△ 4.7
20	繰入金	8,094,942	4.5	8,184,875	4.5	89,933	1.1
21	繰越金	300,000	0.2	300,000	0.2	0	0.0
22	諸収入	7,651,494	4.3	7,183,532	4.0	△ 467,962	△ 6.1
23	市債	15,958,400	8.9	12,511,200	6.9	△ 3,447,200	△ 21.6
	うち 通常債	15,958,400	8.9	12,511,200	6.9	△ 3,447,200	△ 21.6
	うち 臨時財政対策債	0	0.0	0	0.0	0	0.0
歳入合計		179,590,000	100.0	180,120,000	100.0	530,000	0.3

一般会計予算の前年度との比較 性質別予算比較（歳入）

（単位：千円）

区分		令和7年度		令和8年度		比較	
		当初予算額	構成比(%)	当初予算額	構成比(%)	増減	伸率(%)
自主財源	市税	62,342,054	34.7	63,235,381	35.1	893,327	1.4
	諸収入	7,651,494	4.3	7,183,532	4.0	△ 467,962	△ 6.1
	繰入金	8,094,942	4.5	8,184,875	4.5	89,933	1.1
	使用料及び手数料	3,909,017	2.2	4,487,288	2.5	578,271	14.8
	財産収入	335,320	0.2	758,018	0.4	422,698	126.1
	その他	1,971,496	1.1	1,937,263	1.1	△ 34,233	△ 1.7
	計	84,304,323	47.0	85,786,357	47.6	1,482,034	1.8
依存財源	国庫支出金	33,036,123	18.4	32,208,121	17.9	△ 828,002	△ 2.5
	地方交付税	19,547,000	10.9	19,601,000	10.9	54,000	0.3
	市債	15,958,400	8.9	12,511,200	6.9	△ 3,447,200	△ 21.6
	うち 通常債	15,958,400	8.9	12,511,200	6.9	△ 3,447,200	△ 21.6
	うち 臨時財政対策債	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	県支出金	11,828,904	6.6	12,989,196	7.2	1,160,292	9.8
	地方特例交付金	315,644	0.2	541,528	0.3	225,884	71.6
	その他	14,599,606	8.0	16,482,598	9.2	1,882,992	12.9
	計	95,285,677	53.0	94,333,643	52.4	△ 952,034	△ 1.0
歳入合計		179,590,000	100.0	180,120,000	100.0	530,000	0.3

一般会計予算の前年度との比較 款別予算比較（歳出）

（単位：千円）

款		令和7年度		令和8年度		比較	
		当初予算額	構成比(%)	当初予算額	構成比(%)	増減	伸率(%)
1	議会費	778,110	0.4	774,618	0.4	△ 3,492	△ 0.4
2	総務費	23,203,759	12.9	23,779,546	13.2	575,787	2.5
3	民生費	75,735,312	42.2	75,774,559	42.1	39,247	0.1
4	衛生費	8,452,965	4.7	8,400,099	4.7	△ 52,866	△ 0.6
5	環境費	8,593,202	4.8	7,843,333	4.4	△ 749,869	△ 8.7
6	労働費	337,838	0.2	357,224	0.2	19,386	5.7
7	農林水産業費	942,831	0.5	836,316	0.5	△ 106,515	△ 11.3
8	商工費	4,187,359	2.3	4,151,719	2.3	△ 35,640	△ 0.9
9	土木費	17,027,273	9.5	16,192,567	9.0	△ 834,706	△ 4.9
10	消防費	9,131,211	5.1	7,276,754	4.0	△ 1,854,457	△ 20.3
11	教育費	13,458,956	7.5	16,457,180	9.1	2,998,224	22.3
12	災害復旧費	150,460	0.1	147,760	0.1	△ 2,700	△ 1.8
13	公債費	17,367,962	9.7	17,904,125	9.9	536,163	3.1
	うち 通常債	10,582,887	5.9	11,283,167	6.3	700,280	6.6
	うち 臨時財政対策債等	6,777,945	3.8	6,609,025	3.6	△ 168,920	△ 2.5
	うち 一時借入金利子	7,130	0.0	11,933	0.0	4,803	67.4
14	諸支出金	22,762	0.0	24,200	0.0	1,438	6.3
15	予備費	200,000	0.1	200,000	0.1	0.0	0.0
歳出合計		179,590,000	100.0	180,120,000	100.0	530,000	0.3

一般会計予算の前年度との比較 性質別予算比較（歳出）

（単位：千円）

区分		令和7年度		令和8年度		比較	
		当初予算額	構成比(%)	当初予算額	構成比(%)	増減	伸率(%)
義務的経費	人件費	31,036,532	17.3	32,711,578	18.2	1,675,046	5.4
	うち退職手当	493,582	0.3	1,794,652	1.0	1,301,070	263.6
	扶助費	46,897,868	26.1	47,476,946	26.4	579,078	1.2
	公債費	17,367,962	9.7	17,904,125	9.9	536,163	3.1
	うち通常債	10,582,887	5.9	11,283,167	6.3	700,280	6.6
	うち臨時財政対策債等	6,777,945	3.8	6,609,025	3.7	△ 168,920	△ 2.5
	うち一時借入金利子	7,130	0.0	11,933	0.0	4,803	67.4
計		95,302,362	53.1	98,092,649	54.5	2,790,287	2.9
投資的経費	普通建設事業	11,052,786	6.1	6,927,674	3.8	△ 4,125,112	△ 37.3
	災害復旧事業	150,460	0.1	147,760	0.1	△ 2,700	△ 1.8
	計	11,203,246	6.2	7,075,434	3.9	△ 4,127,812	△ 36.8
維持補修費		10,910,403	6.1	8,422,555	4.7	△ 2,487,848	△ 22.8
貸付金		1,835,000	1.0	1,842,500	1.0	7,500	0.4
積立金		1,823,294	1.0	1,648,068	0.9	△ 175,226	△ 9.6
繰出金		10,676,979	5.9	11,437,617	6.4	760,638	7.1
物件費		31,462,908	17.5	34,414,556	19.1	2,951,648	9.4
補助費等		15,903,808	8.9	16,625,474	9.2	721,666	4.5
投資及び出資		272,000	0.2	361,147	0.2	89,147	32.8
予備費		200,000	0.1	200,000	0.1	0	0.0
歳出合計		179,590,000	100.0	180,120,000	100.0	530,000	0.3

一般会計予算の前年度との比較 行政分野別歳出

(単位：千円)

款	令和7年度		令和8年度		比較	
	当初予算額	構成比 (%)	当初予算額	構成比 (%)	増減	伸率 (%)
福祉や子育て環境 (民生費)	75,735,312	42.2	75,774,559	42.1	39,247	0.1
くらしの手続き・施設管理など (総務費)	23,203,759	12.9	23,779,546	13.2	575,787	2.5
借入金の返済 (公債費)	17,367,962	9.7	17,904,125	9.9	536,163	3.1
学校、社会教育 (教育費)	13,458,956	7.5	16,457,180	9.1	2,998,224	22.3
道路などのまちづくり (土木費)	17,027,273	9.5	16,192,567	9.0	△ 834,706	△ 4.9
健康や医療対策 (衛生費)	8,452,965	4.7	8,400,099	4.7	△ 52,866	△ 0.6
環境やごみ処理 (環境費)	8,593,202	4.8	7,843,333	4.4	△ 749,869	△ 8.7
消防・救急活動 (消防費)	9,131,211	5.1	7,276,754	4.0	△ 1,854,457	△ 20.3
商工業、観光振興 (商工費)	4,187,359	2.3	4,151,719	2.3	△ 35,640	△ 0.9
農業、水産業の振興 (農林水産業費)	942,831	0.5	836,316	0.5	△ 106,515	△ 11.3
議会の運営 (議会費)	778,110	0.4	774,618	0.4	△ 3,492	△ 0.4
その他	711,060	0.4	729,184	0.4	18,124	2.6
合計	179,590,000	100.0	180,120,000	100.0	530,000	0.3

市債残高（全会計）

（単位：億円）

会計名	令和 6 年度末 残高	令和 7 年度末 残高見込み	令和 8 年度末 残高見込み	R8－R7 比較増（△）減
一般会計	1,789	1,795	1,750	△ 45
通常債	1,071	1,143	1,162	19
臨時財政対策債等	718	652	588	△ 64
母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	3	3	3	0
水道事業	193	203	221	18
下水道事業	662	672	686	14
病院事業	278	287	277	△ 10
合計	2,925	2,960	2,937	△ 23

※端数処理のため合計が表示と合わない場合があります。

掲載事業一覧

柱	NO.	タイトル	新規	拡充	令和7年度所属	
					部等	課等
1	1	出産子育て応援祝い金の支給			こども家庭支援センター	こども給付課
	2	5歳児健診の実施	○		健康部	地域健康課
	3	公立保育園の再編整備		○	福祉こども部	子育て支援課（公立保育園再編整備担当）
	4	医療的ケア児の受入れ体制の強化		○	福祉こども部	子育て支援課（公立保育園再編整備担当）
	5	病児・病後児保育センターの拡充		○	福祉こども部	子育て支援課
	6	小学校の夏休み期間の一時預かり		○	福祉こども部	子育て支援課（放課後児童対策担当）
	7	市施設の子ども料金無料化	○		財務部	財務課
	8	全天候型遊び場など複合施設の整備の検討	○		経営企画部	企画調整課
					福祉こども部	子育て支援課
					教育委員会	中央図書館
	9	ICTとデータを活用した学びの充実	○	○	教育委員会	教育指導課
					教育委員会	教育研究所
	10	誰も一人にさせない学校づくり	○	○	教育委員会	支援教育課
	11	安全安心で魅力ある教育環境づくり	○	○	教育委員会	教育政策課
					教育委員会	学校管理課
					教育委員会	教育指導課
					教育委員会	学校食育課
	12	家庭や地域と連携した支援体制の強化		○	教育委員会	教育指導課
					教育委員会	保健体育課
	13	教職員の働き方改革の推進		○	教育委員会	教育指導課
					教育委員会	支援教育課
					教育委員会	保健体育課
					教育委員会	教育研究所
	14	ふるさと納税を活用した私立学校などの応援	○		経営企画部	企画調整課
	15	結婚新生活への支援		○	経営企画部	企画調整課
	16	自然・人文博物館リニューアル		○	教育委員会	博物館運営課

掲載事業一覧

柱	NO.	タイトル	新規	拡充	令和7年度所属	
					部等	課等
1	17	産後ケアの拡充		○	こども家庭支援センター	こども家庭支援課
	18	放課後子ども教室の開所時間延長		○	福祉こども部	子育て支援課（放課後児童対策担当）
	19	民設放課後児童クラブの新規開所		○	福祉こども部	子育て支援課（放課後児童対策担当）
	20	子育て・子育ての魅力発信	○		福祉こども部	子育て支援課
	21	一時預かり事業所の保育士などの処遇改善	○		福祉こども部	子育て支援課
	22	RSウイルスの妊婦用予防接種を新設	○		健康部	保健所企画課
	23	不妊治療の通院交通費の助成		○	健康部	地域健康課
	24	学校の給食室の空調整備		○	教育委員会	学校管理課
	25	児童福祉審議会委員に子ども・若者を選任		○	福祉こども部	子育て支援課
	26	強制執行申立て支援の拡充		○	こども家庭支援センター	こども給付課
2	1	町内会・自治会のデジタル化推進		○	地域支援部	地域コミュニティ支援課
	2	ヘルスケアデータを活用した健康支援		○	経営企画部	デジタル・ガバメント推進室
					健康部	健康増進課
	3	乳がん・子宮頸がん検診無料対象者の拡充		○	健康部	健康管理支援課
	4	看護系大学設置などうわまち病院跡地の活用			経営企画部	企画調整課
	5	親なき後の将来に向けた障害者施策の充実	○	○	福祉こども部	障害福祉課
	6	障害のある人が安心して暮らせる支援体制の充実	○	○	福祉こども部	障害福祉課
	7	生成AIを活用した福祉の先進取り組み	○		経営企画部	デジタル・ガバメント推進室
	8	介護人材確保に向けた支援の拡充	○		福祉こども部	介護保険課
	9	民生委員児童委員の活動支援		○	福祉こども部	福祉総務課
	10	まちなか元気プログラムによるフレイル予防	○		健康部	健康増進課
	11	本庁舎窓口の休日開庁	○		地域支援部	窓口サービス課
	12	スクールコミュニティ支援		○	地域支援部	地域コミュニティ支援課
	13	行政センター改革の推進			地域支援部	行政センター改革推進担当課
	14	地域フォーミュラリの支援		○	健康部	健康総務課
					健康部	健康増進課
	15	看護師確保対策の支援		○	健康部	健康総務課
	16	マイナ救急による救急活動のDX化	○		消防局	救急課

掲載事業一覧

柱	NO.	タイトル	新規	拡充	令和7年度所属	
					部等	課等
2	17	救急救命士の養成促進		○	消防局	救急課
	18	リハビリ職の自宅訪問の開始		○	福祉こども部	介護保険課
	19	障害者のための自動車運転免許取得費用助成対象の拡充		○	福祉こども部	障害福祉課
	20	後期高齢者の介護予防事業の体制変更		○	健康部	健康増進課
	21	子ども・若者の自殺対策の推進		○	健康部	保健所保健予防課
	22	社会福祉推進委員活動費の補助		○	福祉こども部	福祉総務課
	23	犯罪被害者などへの日常生活支援の充実			地域支援部	市民生活課
	24	地域の安全安心の支援			地域支援部	市民生活課
3	1	浦賀駅前周辺地区の活性化			経営企画部	民官連携推進担当課
	2	大矢部みどりの公園新規オープン			建設部	公園活用推進担当課
	3	大河ドラマを活用した観光周遊の促進	○		市長室	国際交流・基地政策課
					文化スポーツ観光部	エンターテインメント推進担当課
					文化スポーツ観光部	文化振興課
					文化スポーツ観光部	観光課
					文化スポーツ観光部	美術館運営課
					教育委員会	博物館運営課
	4	三笠公園リニューアル		○	建設部	公園活用推進担当課
					建設部	道路整備課
	5	猿島の魅力アップ いつでも快適に	○		建設部	公園管理課
	6	西地区の魅力向上 宿泊施設×交流拠点			経営企画部	企画調整課
					財務部	FM推進課
	7	市街地の再開発促進		○	経営企画部	まちづくり政策課
					教育委員会	中央図書館
	8	追浜駅周辺のまちづくりの推進			経営企画部	まちづくり政策課
					経営企画部	事業用地課
	9	追浜夏島線の拡幅		○	経営企画部	まちづくり政策課
					建設部	道路整備課
					上下水道局	用地管理課
					上下水道局	下水道管渠課
	10	新港のふ頭新設による物流機能の強化			港湾部	港湾整備課
	11	中小企業の前向きな取り組みを支援	○		経済部	経済企画課
					経済部	企業誘致・工業振興課

掲載事業一覧

柱	NO.	タイトル	新規	拡充	令和7年度所属	
					部等	課等
3	12	中小企業の人材確保と多様な求職者への支援	○	○	経済部	経済企画課
	13	よこすか野菜 農地活用推進と販路拡大		○	経済部	農水産業振興課
	14	よこすか海の幸 沿岸域の再生と養殖推進		○	経済部	農水産業振興課
	15	関係人口の拡大 移住・定住の促進		○	経営企画部	企画調整課
	16	路線バス自動運転プロジェクトの始動	○		都市部	都市計画課
	17	愛宕山公園リニューアル			建設部	公園建設課
	18	美術館開館20周年記念企画展		○	文化スポーツ観光部	美術館運営課
	19	商店街ポイント還元キャンペーンの実施	○		文化スポーツ観光部	商業振興課
	20	三浦半島最高峰である大楠山の再整備		○	文化スポーツ観光部	観光課
	21	横須賀港を活用した市内経済の活性化		○	港湾部	港湾企画課
	22	ふるさと納税の拡大		○	経済部	創業・新産業支援課
	23	文化会館の改修		○	文化スポーツ観光部	文化振興課
	24	メタパースを活用したPR		○	文化スポーツ観光部	観光課
	25	基地が発注する仕事の受注を支援する取り組み		○	経済部	経済企画課
	26	南処理工場跡地の利活用			環境部	環境施設課
4	27	踏切道内誘導表示の設置		○	建設部	道路整備課
	1	ヘリコプター臨時離着陸場の環境整備	○		市長室	危機管理課
	2	災害用物資の備蓄量アップ		○	市長室	危機管理課
	3	体育館（避難所）への空調設備の整備		○	文化スポーツ観光部	スポーツ振興課
					教育委員会	学校管理課
	4	上町地区浸水対策の推進		○	上下水道局	下水道管渠課
					上下水道局	用地管理課
	5	備蓄物資管理の効率化	○		市長室	危機管理課
	6	避難所の情報通信環境の強化	○	○	市長室	危機管理課
	7	地域医療救護所の医薬品などの有効活用			健康部	保健所健康危機管理担当課
	8	住宅の耐震補強工事などへの助成			都市部	建築指導課
	9	消防総合訓練センターの改修			消防局	消防局総務課
	10	火災予防分野のDX推進			消防局	予防課

掲載事業一覧

柱	NO.	タイトル	新規	拡充	令和7年度所属	
					部等	課等
5	1	環境政策の一体的な推進		○	経営企画部	ゼロカーボン推進担当課
	2	三浦半島連携によるブルーカーボンの推進			経営企画部	ゼロカーボン推進担当課
	3	三浦半島4市1町連携 太陽光パネルなどの助成			経営企画部	ゼロカーボン推進担当課
	4	資源循環を進める拠点回収ブースの整備	○		環境部	環境政策課
	5	森を守る支援制度の拡充			建設部	自然環境・河川課
その他	1	民官連携推進事業			経営企画部	民官連携推進担当課
					経営企画部	デジタル・ガバメント推進室
					環境部	環境施設課
					健康部	健康増進課
	2	生成AIのさらなる活用		○	経営企画部	デジタル・ガバメント推進室
	3	職員事務システムの見直し	○		経営企画部	デジタル・ガバメント推進室
	4	キャッシュレス化の推進	○		総務部	会計課
	5	三浦半島4市1町連携のさらなる推進	○		市長室	危機管理課
					経営企画部	企画調整課
					経営企画部	ゼロカーボン推進担当課
					環境部	広域処理センター
					港湾部	港湾企画課
					港湾部	港湾管理課
	6	新しい公園遊具を整備	○		教育委員会	学校食育課
	7	新しい公園遊具を整備	○		建設部	公園建設課
	8	市政情報をより身近に SNSによる発信強化	○		建設部	広報課
	9	DXの推進		○	経営企画部	デジタル・ガバメント推進室
	10	産業交流プラザへのマイナンバーカード窓口新設		○	地域支援部	窓口サービス課
	11	デジタルを活用した発信強化DX		○	経営企画部	広報課
	12	森崎アパートの安全対策	○		都市部	市営住宅課
	13	包括的民間委託によるインフラの維持管理	○		建設部	企画担当課